

# 自然観察 NOW

No. 39

野幌森林公園自然情報

発行：2019年 6月 2日

北海道ボランティアレンジャー協議会

ホームページ <http://voluran.com/>



少し汗ばむ季節になって昆虫類も活発に動き出します。野幌森林公園でもクワガタなどがおなじみですが、今回はカミキリムシ数種と他 1 種を紹介いたします。


残念ながら公園内では昆虫の採集はできませんので、遊歩道を歩く際に見つけることができる範囲で見てください。いずれも実際に観察できた種類ですので森のどこかにひそんでいるはずです。観察のポイントも添えました。実際の色は図鑑等でご覧下さい。

## カミキリムシ(9 種)

種名	画像	観察ポイント
センノカミキリ		体長は 15～40mm 程度で人間の親指位。黒褐色をしているので大きさの割には目立たない。ウコギ科のハリギリ、タラノキなどを食樹としている。筆者は棘だらけのタラノキにしがみついているところを見ている。写真はハリギリ(センノキ)。
コバネカミキリ		体長は 12～30mm 程度で褐色から黒褐色。上翅が短いことが名前の由来。太った雌はコオロギを思わせる。各種広葉樹を食樹としシラカバ・ヤナギなどの伐採木で見かけるが、遊歩道上で動けなくなった個体を見かけたこともある。
トラフカミキリ		体長は 25mm 内外。見た通りスズメバチそっくりでハチに似ることによって身を守っていると思われる。クワの木を食樹とし、ヤマグワの古木の裂け目などに張り付いているが、スズメバチのごとくブンブンと飛び回っていることもある。
ルリボシカミキリ		体長 18～29mm。目にも鮮やかな黒とブルーの縞々模様の人気者。とても目立つので割と発見しやすい。伐採木や切り株などで見かける。広葉樹を食樹としている。
シラホシヒゲナガ コバネカミキリ		体長 10mm 前後。小さな体にさらに小さな上翅、白い斑点がワンポイント。針葉樹の倒木などで飛び回り、落ち着かない。飛ぶ姿は貧弱なアブといったところ。夜は枝先で休憩。食樹はマツ科。

種名	画像	観察ポイント
アカハナカミキリ		体長 13～20mm。ごく普通種で各種の花(特に白いオオハナウドなど)や伐採木に集まる。食樹はマツ科。
オオクロカミキリ		体長 14～28mm。なまえに“オオ”とつくがさほど大きくはない真っ黒なカミキリ。伐採木等でみられる。
シラホシカミキリ		体長 6.5～13mm。小さくて発見しづらいが、よく見ると赤茶と黒の体に白い水玉と線を備えた素敵なデザイン。サルナシの葉、伐採木等でみられる。比較的一直線に飛んでいく。各種広葉樹を食樹とする。
ナガゴマフカミキリ		体長 12～19mm。黒褐色で前出のセンノカミキリを小さくして少し太らせた感じ。針葉樹の樹皮上にいるときは保護色となっているが、まだらの触角が意外と目立つ。食樹は各種広葉樹。

### 番外編(1種) : カミキリムシではありませんオサムシの仲間です

種名	画像	観察ポイント
エゾマイマイカブリ		体長 26～45mm。肉食性でカタツムリの殻に頭を突っ込んでいる様が名前の由来だという説あり。道路の側溝でウロウロしている姿を見ることがあるが、上記のカミキリムシのごとく枯れた木に登り降りしているところを見たこともある。頭胸部は赤銅色、緑色などのタイプがある。

#### 観察会案内

6月16日(日) 北広島レクの森観察会 10:00～12:30 北広島レクの森駐車場

6月23日(日) 苫小牧緑ヶ丘公園観察会 10:00～12:30 金太郎の駐車場

7月5日(金) 三角山登山観察会 10:00～14:30 緑花会館登山口

参考：探そう！ほっかいどうの虫、自然観察雑記帳、weblio 辞書、北海道生物図鑑、Wikipedia など

文責：藤田 潔